

環境と経済の好循環ビジョン 参考資料

環境と経済の好循環ビジョンにおける目標一覧(案)	1
環境と経済の好循環専門委員会の審議経過(案)	2
環境と経済の好循環ビジョン概要(案)	4

環境と経済の好循環ビジョンにおける目標一覧（案）

【くらしを彩る環境のわざ】

温室効果ガスの排出削減

1990年比で2008年から2012年の温室効果ガスの排出量を6%削減するとともに、温室効果ガスの排出削減が組み込まれた社会を構築し、長期的・継続的な排出削減を目指す。

グリーンコンシューマーの増加

「物・サービスを買うときは環境への影響を考えてから選択している」人の割合が2025年度に80%以上になることを目指す。

【「もったいない」が生み出す資源】

資源生産性の向上

循環型社会形成推進基本計画に基づき、資源生産性（GDP / 天然資源等投入量）を2010年度に約39万円/トン（2000年度比で概ね4割向上）まで向上させる。

環境保全活動への積極的参加

「過去1年間に、地域やNPO等でごみの削減やその他の環境保全に参加したことがある」人の割合が2025年度に50%以上になることを目指す。

【自然がはぐくむ心と力】

自然とのふれあいを求める人の増加

「年に10日以上を自然の中で過ごす」人の割合が2025年度には50%以上になることを目指す。

自然エネルギー等の普及

自然エネルギー等の新エネルギー技術が日本から世界に広まり、大幅に導入されることを目指す。

【2025年の経済社会】

環境誘発型ビジネスの成長

通常と比較してより環境に配慮した製品や事業形態（環境誘発型ビジネス）の市場が日本のみならず外国にも広がり、2025年には、100兆円以上の市場と200万人以上の雇用を生み出していることを目指す。

環境と経済の好循環専門委員会の審議経過（案）

平成 15 年

第 1 回委員会 11 月 4 日

事務局より委員会設置の経緯・論点等について説明後、自由討議

第 2 回委員会 11 月 20 日

『くらしを彩る環境のわざ』をテーマに委員等からの意見発表後、自由討議

（発表者）

園田 信雄	松下電器産業株式会社環境本部長
筒見 憲三	株式会社ファーストエスコ代表取締役社長
辰巳 菊子	社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会理事
伊藤 哲志	トヨタ自動車株式会社環境部渉外グループ長担当課長
関 正雄	株式会社損害保険ジャパン社会・環境室長

第 3 回委員会 12 月 19 日

『自然がはぐくむところとちから』をテーマに委員等からの意見発表後、自由討議

（発表者）

辻 晴雄	シャープ株式会社相談役
養老 孟司	北里大学大学院医療系研究科教授
山本加津子	株式会社主婦の友社「ゆうゆう」編集長
小林 英俊	財団法人日本交通公社理事

平成 16 年

第 4 回委員会 1 月 16 日

『「もったいない」が生み出す資源』をテーマに委員等からの意見発表後、自由討議

（発表者）

小倉 康嗣	J F E ホールディングス株式会社 環境ソリューションセンター企画部長
黒須 隆一	八王子市長・全国市長会廃棄物対策特別委員会副委員長

崎田 裕子 N P O 法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長
N P O 法人新宿環境活動ネット代表理事
ジャーナリスト・環境カウンセラー
長島 徳明 帝人株式会社代表取締役副社長
深尾 典男 株式会社日経 B P 開発室部長

第 5 回委員会 2 月 12 日

委員会報告骨子案の審議

第 6 回委員会 3 月 18 日

委員会報告案の審議

パブリックコメントの実施 3 月 19 日～4 月 5 日

第 7 回委員会 4 月 16 日

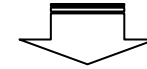
委員会報告の決定

(注) 発表者の役職名は、意見発表時点のもの。

～ 環境と経済の好循環ビジョン（案）～



環境を良くすることが経済を発展させ、
経済の活性化が環境を改善する社会



健やかで美しく豊かな
環境先進国

好循環への基盤 < 環境の価値を積極的に評価する市場 >

好循環をつくる人々

価値観と需要をつくる消費者
資金をつくる投資家
商品・サービス・人をつくる
事業者・教育機関
コミュニティをつくる
行政・民間団体

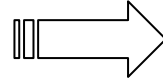
好循環の実現に向けた課題

市場が環境配慮に向かうための
技術開発、インセンティブ等
好循環を呼び起こす環境情報の充実
好循環を呼び起こす人づくり

今から始められる好循環への歩み ~ 今後の施策の方向性 ~

くらしを彩る環境のわざ

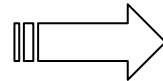
グリーン消費・投資の増加
事業者の一層の技術革新
革新的技術の開発、基盤整備



CO₂排出量：京都議定書の削減約束を達成
グリーンコンシューマーの割合
(2002年 31% 2025年 80%以上)

「もったいない」が生み出す資源

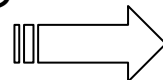
ごみの発生抑制
資源化の技術
循環を支えるパートナーシップ社会の形成



資源生産性 (GDP / 天然資源等投入量)
(2010年度 約39万円/トン)
環境保全活動に参加する人の割合
(2025年 50%以上)

自然がはぐくむ心と力

自然とのふれあいや健康の保持への関心の高まり
ガイドの育成などによるエコツーリズムの発展
太陽光発電や風力発電の増加



年に10日以上を自然の中で過ごす人の割合
(2025年 50%以上)
自然エネルギー等の新エネルギー技術が日本から
世界へ普及

2025年の将来像

日本の経済社会

環境に強い関心を持つ消費者と
技術力が生み出す所得と雇用
資源が循環しエネルギー効率の
高い社会

サービス産業と環境

人と環境にやさしい交通

環境誘発型ビジネス

100兆円以上の市場規模
200万人以上の雇用創出

自然の恵みが人を呼ぶ里

エコツーリズムの発展や地域の環境
イメージによる農産品や地場製品の
売上げ増により、雇用が増加

身近な自然環境に加え地球環境の保
全にも熱心



52才のKさん
(今31才)

民宿と農業をしてい
ます。お客の送迎は低公
害車、料理は家で作っ
た有機野菜、エネル
ギーはバイオマスを利用
しています。
息子が地元に戻ってき
てエコツアーのガイド
を始めました。

ものづくりのわざが循環をつくる街

工業都市は環境配慮型製品の生産
やリサイクル等で地域の雇用を支
える

グリーン購入やごみの資源化に熱
心に取り組む



35才のSさん
(今14才)

環境配慮の経営で評価
されている会社でエン
ジニアとして働いてい
ます。
家では、子供の成長に
あわせて家具や省エネ
家電をレンタルしてい
ます。
休暇は家族全員で島で
過ごします。

環境の心で生まれ変わる都会

最先端の環境技術を生み出す市場と
して世界のトレンドを先取り

建物は太陽光発電を備え、街路樹な
どの緑地も増加



77才のYさん
(今56才)

退職金の一部で我が家
をエコハウスに改築し
ました。
貯えの一部は環境にや
さしい企業の株や債券
で運用しています。
普段は自然再生やゴミ
問題のNPOで活動し
ています。

環境と経済の好循環の国際的な展開

2025年の世界の姿

日本の環境技術が世界の環境保全に貢献
日本のライフスタイルがアジアの消費者にも影響
世界の環境効率性・資源生産性が向上

途上国を旅行して、
環境を良くする日本
の技術が生きている
のを目にしました。
環境で豊かになるこ
とを目指し、技術を
磨き人を育ててきた
日本に生まれました。
を誇りに思います。



21才のTさん（今年生まれ）

2025年の理想の姿を実現するために

次期環境基本計画の策定

2025年の理想の姿と現実を埋めるために、
政府が一体となって、具体的な施策を盛り込む